

第5章

実現に向けて

- (1) 取組の推進体制
- (2) 事業展開の考え方
- (3) 事業展開のシナリオ

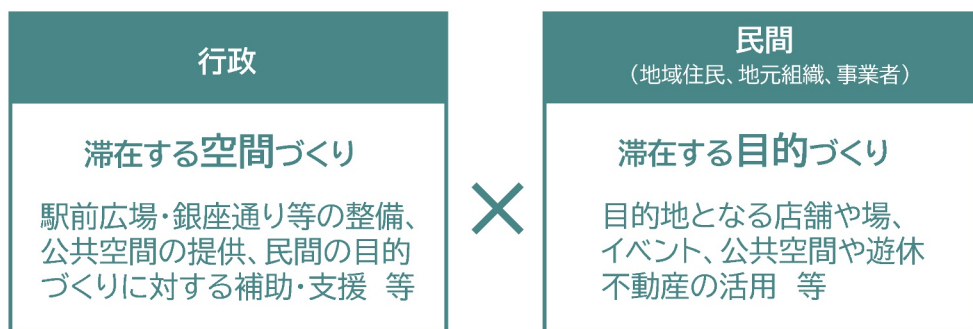
(1)取組の推進体制

まちなか再生方針の実現に向けては、行政と民間で将来像に対する共通認識を持ち、それぞれの立場や強みを活かして、連携しながら取組を進めていくことが重要です。行政が滞在する空間づくりを行い、地域住民や事業者等の民間がそこに目的をつくるような取組を行うことで、「暮らす人が主役のまちー通るまちから、暮らすまちへー」を目指していきます。

まちなか再生方針のテーマ

暮らす人が主役のまちー通るまちから、暮らすまちへー

「暮らすまち」にするためには「滞在」が必要
「滞在」を生むためには「(滞在する)目的」が必要



(2)事業展開の考え方

まちなか再生方針における事業展開は、事業の規模・効果の大きい駅前広場整備とまちなかでの取組を一体的に推進し、これらを連動させることで新たな人の流れを創出し、その効果や需要の変化を踏まえながら次の施策の優先順位や内容を判断していく仕組みとしています。このため、基本計画に位置づけられている整備であっても、現時点で事業展開を具体的に示していないものがあります。これらについては、社会情勢やまちづくりに対する考え方の変化に加え、先行する整備の効果や、それに伴う人の流れや交通需要の変化を見極めた上で、整備手法等を検討していきます。

事業展開はフェーズ1から3の3段階で示しており、フェーズ4以降については、フェーズ1から3までの取組の成果を検証した上で、新たな課題やニーズに応じて柔軟に設定し、必要な事業を追加・具体化していくことを想定しています。

事業展開シナリオ

- フェーズ1 基盤整備の段階で、実現性が高く、即効性・波及性のある事業に注力し、まちの変化が見える化します。
- フェーズ2 人の流れや滞留の変化が明確になり、民間投資が進むなど効果が広がっていきます。
- フェーズ3 これまでの整備成果を踏まえた周辺への展開や需要に応じた整備の拡大を目指します。

(3) 事業展開のシナリオ：駅周辺

駅周辺における事業展開のシナリオは以下のとおりです。

フェーズ1



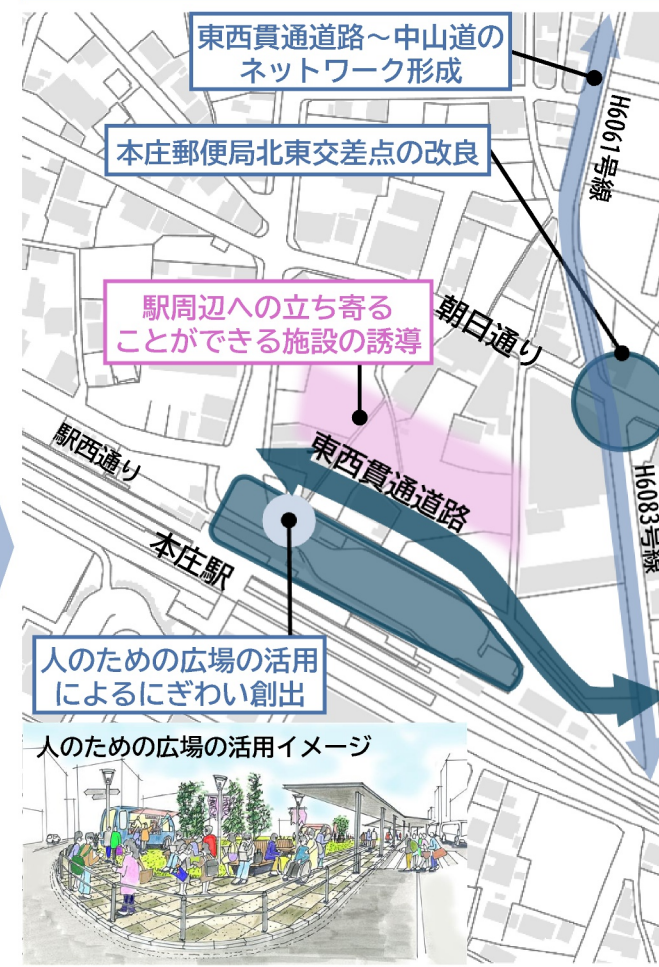
フェーズ1では、東西貫通道路を整備し、駅前広場の進入口の確保と、道路ネットワークの強化を図ります。あわせて、駅前広場の再整備に向けた検討～設計を行います。

フェーズ2



フェーズ2では、駅前広場の再整備が完了することで、歩行者や自動車の安全性・利便性の向上を図ります。フェーズ1～2の整備効果により、駅周辺において、立ち寄れる施設の立地の誘導につなげていきます。さらには、銀座通り周辺の取組と連動して、まちなかに新たな人の流れの創出を図ります。

フェーズ3

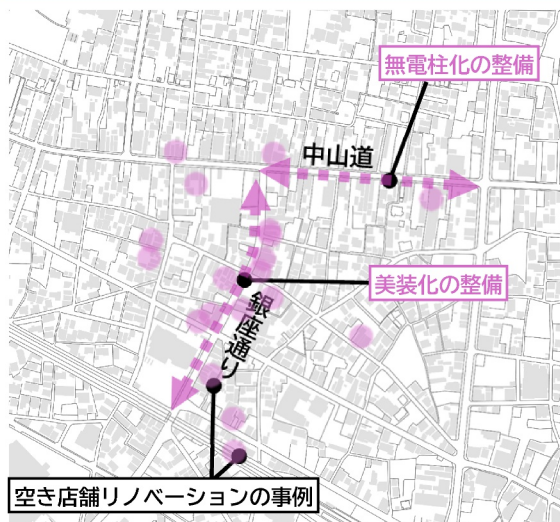


フェーズ3では、駅前広場及び東西貫通道路の整備を受け、本庄郵便局北東交差点を交通量の増加に対応可能な交差点へと改良するとともに、東西貫通道路から中山道までの南北のネットワークを形成します。また、駅前広場内では、「人のための広場」として、活動やイベントを活発に行えるよう維持管理・運営を図り、駅周辺の一層のにぎわい創出につなげます。

(3) 事業展開のシナリオ：銀座通り周辺

銀座通り周辺における事業展開のシナリオは以下のとおりです。

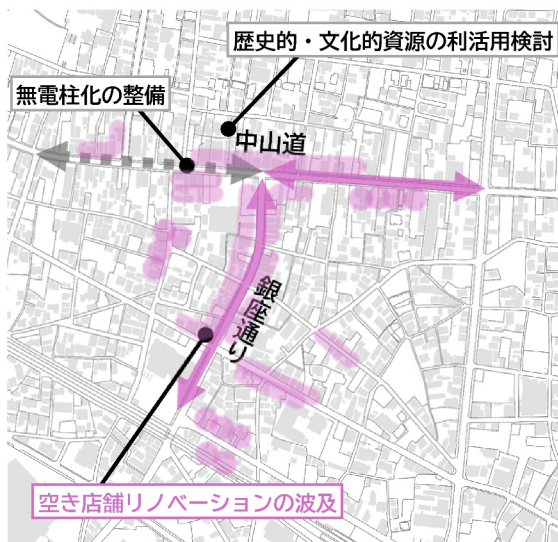
フェーズ1



フェーズ1では、銀座通りの美装化に向けた設計～整備に取り組み、中山道の一部区間では、無電柱化の事業が進みます。道路整備による歩行環境改善と景観向上を推進します。

- 4 - ① 銀座通りの美装化
- 5 - ① 中山道の無電柱化

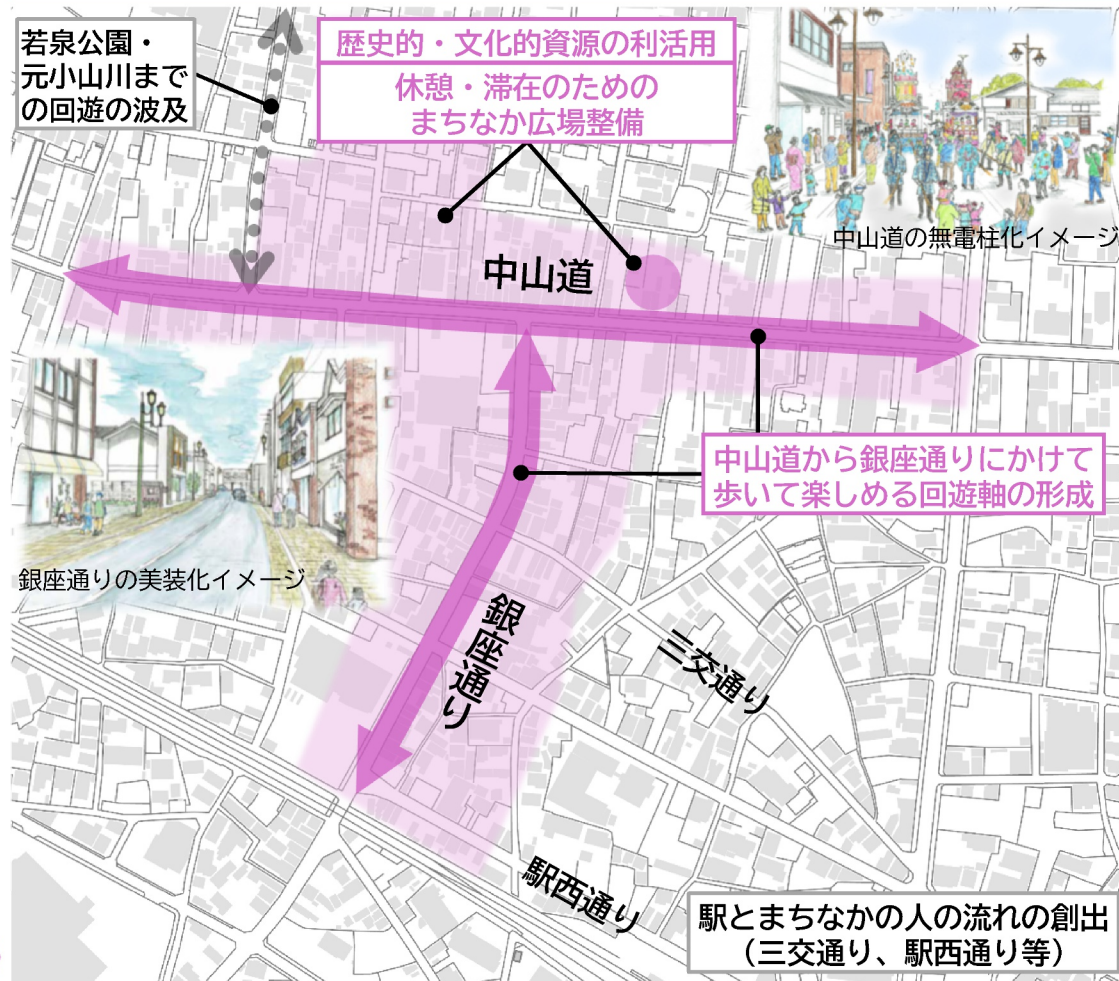
フェーズ2



フェーズ2では、銀座通りの美装化が完了し、中山道は次工区の事業に着手します。整備後は、道路空間の利活用をより一層促進します。また、並行して歴史的・文化的資源の利活用を検討しつつ、空き店舗リノベーションの範囲拡大を図ります。

- 8 - ① 空き家・空き店舗対策/リノベーション事業

フェーズ3



フェーズ3では、中山道の無電柱化区間が延伸し、中山道や銀座通り周辺の歴史的・文化的資源の利活用や、沿道の景観づくりが進みます。空き店舗リノベーションの促進との相乗効果により、歩いて楽しめる回遊軸が形成され、駅周辺の取組と連動して、まちなかに新たな人の流れの創出を図ります。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 3 - ① まちなか広場の整備 | 4 - ② 立ち寄りたくなる沿道の景観づくり |
| 5 - ② 歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり | 6 - ① サインでつなげるみちづくり |
| | 6 - ② まちなかウォークブル |

(3) 事業展開のシナリオ：重点課題地区

重点課題地区における事業展開のシナリオは以下のとおりです。

フェーズ1



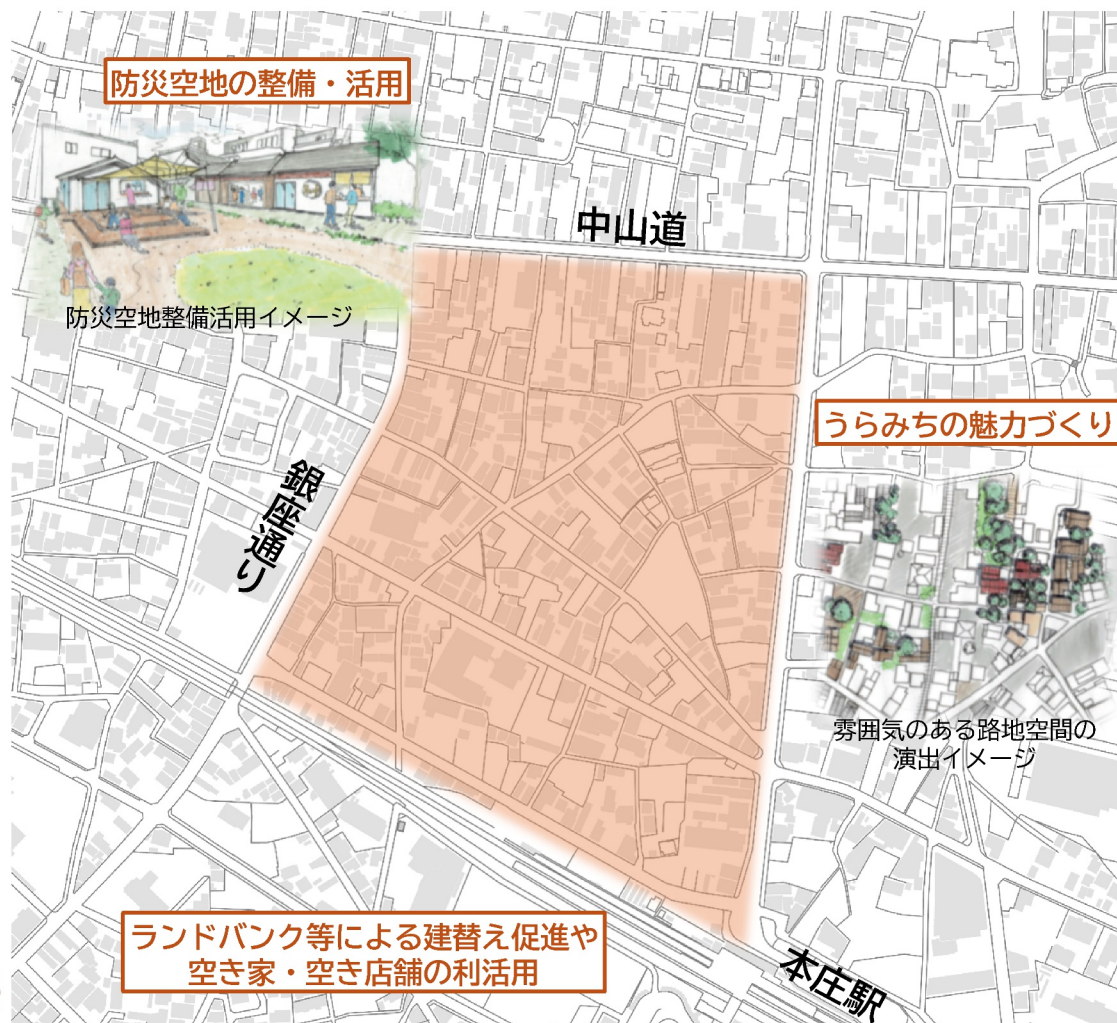
フェーズ1では、地籍調査を進めることで土地取引や民間開発を妨げる不明確な地籍の解消を図ります。また、重点課題地区を中心に活用を図りやすい低未利用地や魅力的な路地空間等について、地域住民と協力しながら、地権者の意向確認や活用方法の検討を行います。

フェーズ2



フェーズ2では、地籍調査の成果に加え、駅・銀座通り周辺の取組を通じた魅力向上により、エリアの開発意欲を高めていきます。また、フェーズ1で発掘した低未利用地の権利関係の調整や計画検討、事業化を進めるとともに、ランドバンクの設立を目指した検討を行います。

フェーズ3



フェーズ3では、地域住民と協力した低未利用地の防災空地等による活用や路地空間のマネジメント、ランドバンクによる建替えや空き家・空き店舗の利活用を図ることで、まちの資源を活かしながら、まちの循環を促す取組を進めていきます。

- | | | |
|----------------------------|-------------------------|----------------------------|
| 7 - ① 狭あい道路の安全空間マネジメント | 7 - ② まちの更新ミニエリアコーディネート | 8 - ① 空き家・空き店舗対策/リノベーション事業 |
| 9 - ① 趣ある建物を活かしたうらみちの魅力づくり | | |